

いま、ここから、あるきだす。

NPO法人 全国引きこもりKHJ親の会(家族会連合会)
代表 池田 佳世
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨3-4-4 Tel:03-5944-5250 Fax:03-5944-5290
<http://www.khj-h.com>



第80号 発行日 平成28年1月19日(火)

- 1面 ▼ 理事長挨拶 会の名称変更について
2面 ▼ 新支部 新年の抱負
3面 ▼ ひきこもり大学 自立相談支援センター
4面 ▼ クラフトの哲学 KHJ俳句・川柳

団体名称が変わりました

< KHJ 全国ひきこもり家族会連合会 > 親の会から「家族会」へ ～ KHJ の役割と今後の方向性～

1999年に埼玉県で産声を上げたKHJ「親の会」は、2015年12月、新名称「KHJ全国ひきこもり家族会連合会」として船出します。引きこもり長期高齢化が浮上する中、ひきこもり問題は、親だけが抱えて苦悩するのではなく、社会全体が一緒に取り組んでいくべきものとして変化してきたということが、名称変更の背景にあります。

また、「家族会」の言葉には、本人、親、兄弟姉妹等を含めた全ての「家族」が幸せに生きていくための決意と願いが込められています。前号79号の旅立ちでお届け

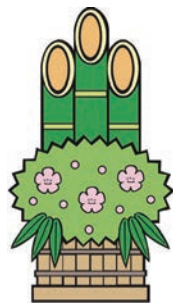


池田 佳世理事長

また、各地では「地域でつながるコミュニティづくり」への動きが始まっています。私たちはもう家族会だけでなくひきこもってはいられなくなり、生活困窮者自立支援法で、あらゆる種類の

また、各地では「地域でつながるコミュニティづくり」への動きが始まっています。私たちはもう家族会だけでなくひきこもってはいられなくなり、生活困窮者自立支援法で、あらゆる種類の

全国の皆様、明けましておめでとうございます。1999年に埼玉ではじまった全国引きこもりKHJ親の会は、2015年12月新名称「KHJ全国ひきこもり家族会連合会」と名称が変わりました。昨年、香川における全国大会ではひきこもり本人たちの参加が多くみられ、兄弟姉妹の会も含め、名実共に家族会



KHJ 家族会としての出発

池田理事長 新年の挨拶

全国組織としては唯一のひきこもり家族会であるKHJ(K家族、Hひきこもり、Jジャパン)には、全国の都道府県に新しい会が誕生しており、現在56支部に

そのうえで本人たちが望む社会参加ができるように、何歳になっても何歳でもやり直しができる環境づくりや、雇用創出が急務と言えます。本人たちの主体的意欲や思いを大切にしながら、本人の状態に応じた自立を支援していけるように。親はファーストベンギン(はじめての道を作っていく人)にな

困窮者と一緒に支援されるようになり、地域でのつながりが必要です。人や社会とつながりづら

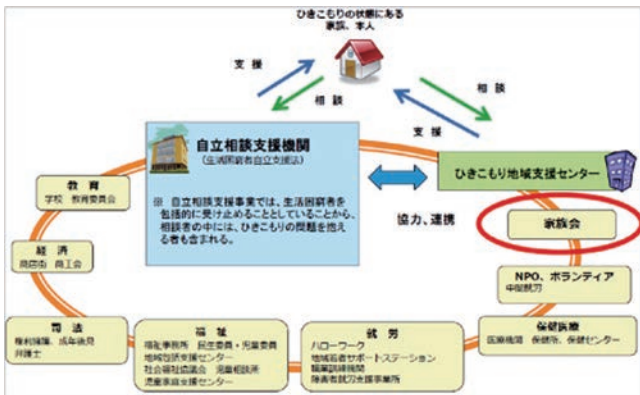


ひきこもり地域支援センターが全国の9割以上に設置されるなど、家族がひきこもり相談につながるための入口は増えましたが、社会参加のための出口(居場所、中間的就労など)の選択肢は非常に限られているのも現実です。本人が社会

ひきこもり地域支援センターが全国の9割以上に設置されるなど、家族がひきこもり相談につながるための入口は増えましたが、社会参加のための出口(居場所、中間的就労など)の選択肢は非常に限られているのも現実です。本人が社会

社会とのつながりを実感できる

選択肢のある出口(環境)を増やす



への一歩が、次代のKHJに求められる大きな役割と言えます(図1)。

KHJは全国組織を有する唯一のひきこもり当事者団体(注：わたしたちは、本人ばかりでなく、家族も含めて当事者と考えています)として、現在、全国43都道府県56地域に支部を持ち、家族会のネットワークを組んで

開かれた家族会として「つながる」地域連携を

くことで、地域がひきこもり問題に対して正しい理解を得られる地域連携活動となります。また、住民同士のイベント参加や、見守りネットワークへの協力等、実際に足を運ぶことで繋がる機会を増やしていくことができ

と、家族会だけではできないことがあります。地域の中で足りないことを持ち寄り、補い合う地域連携の姿勢が必要で

す。たとえば、ひきこもりに関する講演会を開催する際も、社協や関連ボランティア団体の方と繋がり合い、相互に支え合いながら進めてい

図上：住み慣れた地域の構築について(多機関連携によるネットワークの構築)

必要なことを信念を持ってやっていたら、その姿勢は必ず周囲にも伝わり、応援の声に変わります。周囲や世間の偏見を恐れず、まず自分自身の偏見を打ち破り、勇気を持って地域に一歩踏み出していきましょう。活動していきましょう。必ずその

な参加に向かうことは難しいことから、本人の意欲や思いを大切に、自己選択、自己決定を基本に、経済的自立のみならず日常生活での自立や社会生活での自立など、本人の状態に応じた自立を支援する。生活困窮者の多くが自己肯定感、自

そのために、福祉就労、福祉制度についても知っていく必要があります。みなさんと共に生活困窮者自立支援制度を育て、より良い支援体制を整えていきましょう。

平成27年4月から施行された困窮者自立支援法は、各自治体も試行錯誤の中にあります。必須事業については、各自治体で既に実施されているものが、任意事業に関しては、これからという自治体も多くあります。それぞれの地域の実情に応じた支援体制を構築していく中で、今後、様々な課題が出てくることでしょう。家族会の役割としては、ま

今できることをやる、足を運んで、行政の制度とニーズを知り、家族会の存在と取り組みを知ってもらうことがら

周囲の偏見に負けない、信念を持って続ける



全国大会 in 香川での懇親会で一致団結

不登校・ひきこもりの方も安心
「自宅通信学習」で、
高校卒業資格取得!
生徒第一...だから
第一学院高認予備校
TEL 0120-936-358 www.daiichigakuin-kounin.jp



必要なことを信念を持ってやっていたら、その姿勢は必ず周囲にも伝わり、応援の声に変わります。周囲や世間の偏見を恐れず、まず自分自身の偏見を打ち破り、勇気を持って地域に一歩踏み出していきましょう。活動していきましょう。必ずその

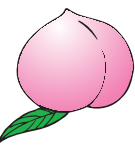
必要なことを信念を持ってやっていたら、その姿勢は必ず周囲にも伝わり、応援の声に変わります。周囲や世間の偏見を恐れず、まず自分自身の偏見を打ち破り、勇気を持って地域に一歩踏み出していきましょう。活動していきましょう。必ずその

新支部より新年の抱負

平成26年から27年にかけて新しく20支部が全国のKHJネットワークに加入しました。その中から10支部に新年の抱負を語っていただきました。(加入順で掲載)

「KHJ山梨県桃の会」

桃の会設立二年目を迎えました。一年間は参加者の「何とかして欲しい」という強い思い、期待に突き動かされてきました。長い間、家族は家族だけで耐えに耐えてきたわけですから無理もありません。会の設立は画期的で山梨日日新聞の応援も社会にアピールする事で力強い事でした。



家族の方々の表情はこの一年で穏やかな表情に変化してまいりました。その背景には「ひきこもり」を肯定的に捉えなくなった内面的変化、価値観の転換という涙ぐましい努力を一人一人がされているのだと思います。そして「出会う・つながる・わかち合う」事が家族

「KHJ鳥取県うぐいすの会」

今まで、「不登校の子と親の会」、「子ども達を支援してくれる高校の保護者会」などに参加してきました。高校卒業後の子ども達を見守る仕組みが無くて何か組織があれば良いの

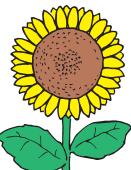


に思っています。H26年9月に鳥取市で開催された「KHJ引きこもり講演会」に参加して

「KHJ三重県みえオレンジの会」

みえオレンジの会は発足して一周年を迎えようとしています。活動内容は月1回の家族会、奇数月の相談会

「KHJ兵庫県中央栗支部ひまわりの家 家族会」



KHJ兵庫県ひまわりの家族会がH25年3月に発足し、「一人で悩まず、共に寄り添い、焦らずゆっくり一緒に歩いて行きたい」と呼び掛け、毎月1回の家族会を開催して

「KHJ福島県ふくしま花もの会」

「ふくしま花もの会」は昨年の3月に本部の声掛けや山形県「から・ころセン

「KHJ群馬県はるかの会」

群馬はるかぜの会は、昨年2月に発足し、最初の新しい年を迎えました。当初より池田代表、埼玉けやきの会の田口代表、群馬県支援センター反町様、阿久津様を始め様々な方々の助けを頂きながら活動

「KHJ石川県南加賀支部うぐいすの会」

昨年4月に立ち上げました石川県南加賀支部「うぐいすの会」です。3年前にひきこもりだけで生活する

「KHJ長岡フェニックスの会」

長岡フェニックスの会は、昨年5月に「ながおかのクリニック」を利用して

「KHJ石垣島ビーチの会」

新年あけましておめでとうございます。平成二十七年に沖縄県石垣市にて、「ひきこもり問題を考える家族・市民の会」として発足いたしました「石垣島ビーチの会」を

「KHJはあぴあ家族会」

新年あけましておめでとうございます。富山県の「KHJはあぴあ家族会」の高和洋子と申します。どうぞよろしくお願

動内容をまず学び、その後外部講師を招き学んでまいりました。今年は、会員の方々の要望に沿い、コミュニケーションを深め、会の組織力を高めてまいります。が、ゆとりを持ち活動してまいります。自ら学び、自ら楽しんでいく会として、気が楽に、思いを伝え、それぞれが尊重し合う時間を持つていききたいと思っています。今後とも皆様のご協力をお願いいたします。(代表 榎本明)

今年4月に立ち上げました石川県南加賀支部「うぐいすの会」です。3年前にひきこもりだけで生活する「ひきこもりのシェアハウス」を作りまし。これがドキュメンタリーになり全国放送されました。この時のご縁で新潟県秋桜の会の三膳さんとの出会いがあり、KHJの

KHJはあぴあ家族会 新年あけましておめでとうございます。富山県の「KHJはあぴあ家族会」の高和洋子と申します。どうぞよろしくお願

KHJはあぴあ家族会 新年あけましておめでとうございます。富山県の「KHJはあぴあ家族会」の高和洋子と申します。どうぞよろしくお願

不登校・ひきこもりの方も安心

第一学院高校は、**「自宅通信学習」で高校卒業できる学校です。**

- ▶ iPad® miniを使って学習(無償貸与)。
- ▶ 自宅学習と年1回のスクーリングで高校卒業。
- ▶ メンタル面・進路面のサポートも充実。

※iPadは米Apple Inc.の登録商標です。

通信制高校(広域通信・単位制)

第一学院高等学校

TEL 0120-761-080 www.daiichigakuin.ed.jp

全国50キャンパス(平成27年4月時点)

こんな悩みをお持ちの方

- ・働くための一歩が踏み出せない。
- ・自分らしい働き方を見つけない。
- ・人間関係にうまくつきあえ自信を失っている。
- ・仕事をすぐに辞めてしまふ。仕事が続かない。

あなたの「なんとかしたい」に応えます

ねりま若者サポートステーションは、厚生労働省から委託された15~39歳の若者のための就労支援機関です。支援コーディネーター等のスタッフが、あなたの思いを「カタチ」にしていこうお手伝いをします。

認定NPO法人 文化学習協同ネットワーク **ねりま若者サポートステーション**

Tel: 03-5848-8341 Fax: 03-5848-8361

〒179-0074 東京都練馬区春日町4-16-9 春日町青少年館3階

E-mail: nerimayss@npobunka.net URL: http://kyodonet-nerima.net



「ひきこもり大学」全国キャラバンを終えて ジャーナリスト 池上正樹

2015年度、KHJは「ひきこもり大学KHJ全国キャラバン2015」(日本財団助成事業)を支部のある全国21カ所で開催しました。12月19日の「全国キャラバン東京」には、110名を超える参加者が集まり、キャラバンのフィナーレを飾るにふさわしい盛会ぶりを見せました。

筆者は、そのうちの10カ所でお手伝いしましたが、初めて参加される本人や経験者、家族の姿も多く見られました。そんな当事者たちからは、行き場所のあまりない地方

で「こういう機会を作って頂いて、ありがたい」といった声も各地で聞かれました。

一方で支援者や行政関係者、関心のある一般の人なども数多く参加。地域で孤立していた当事者たちが、多様な参加者と新たな関係性を作るプラットフォームの場にもなったのではないかと感じました。



講師が話すだけでなく、参加者とともに新しい社会参加の仕組みを考えていきたいという思いから、ファシリテーターが入って対話を行います。学部学科名も講師が自由にネーミング。自己表現学部というクリスマスライヴや、対人恐怖学部というキャンプファイヤーなど、ひきこもり経験者ならではの目線とユニークな発想で行われ、またたく間に各地の当事者たちの間に普及していききました。

ひきこもり大学は、支援団体や親の会などが経験者に行わせる「体験発表」や「成功体験報告」とは趣が異なります。当事者が自らの意思で希望し、これまで閉じ込めてきた思いや感情を自由に発信して社会に伝えていく場です。そこには、一方的に

【連載】NPO法人オレンジの会「自立相談支援センター」受託運営について

第二回 運営に至る経緯

私達オレンジの会は、地元名古屋の障害者団体、困窮者支援団体と手を組み、今年の8月1日から相談窓口を開設したわけですが、ここに至るまでには幾多の試練がありました。

まず一つ目に企画力の欠如。27年からの本事業開始に先駆け、26年にモデル事業の公募が行われたのですが、あえなく5位という結果で落選しました。1位の企画書がどんなものかは知る由もないですが、私たちが作成した企画書は文字ばかりのばつと見ただけで嫌になるような固い企画書でした。そこで今年度は企画書について勉強し、

「極力長文は避ける」「図を多用する」「目を引くよう構成を練る」といったことを意識して企画書を作成しました。結果は前年苦渋をなめさせられた団体を逆に引き離す形で見事1位を獲得しました。二つ目の試練として名古屋でいったいいくつセンターができるのかという点とでした。もともとオレンジの会では複数センターの設置を求めています。名古屋市の人口は220万人といわれ、それを単純に15区で割っても14万人弱になります。14万人弱といえ、小さな地方自治体よりも多い人数です。オレンジの会では市に最低でも4つ窓口

を設置したほうがいいという考えを訴えてきましたが、最終的には財政当局との調整の中で3つとなりました。ですが、何も言わなければ1つであった可能性もあるため、大きな収穫と言えるかもしれません。三つめには人員の問題です。仕様書には各部門ごとに揃えなければいけないスタッフの要件が記されているのですが、これがまたハードルが高く、社会福祉士や精神保健福祉士、ファイナンシャルプランナーなどを総勢10名ちかく揃える必要がありました。これに対して事業体では、自分達の持っている人脈をフルに活かして、なかでこの会さんの手もお借りして、公募締切りギリギリの段階で何とか揃えることが出来ました。といった感じで、まだまだ

書きたいことはあるのですが、とりあえずは窓口開設にこぎつけることが出来ました。こんな風に書いていると奮闘記のように思われるかもしれませんが、企画書作成など準備を進めていくうちに色々な矛盾も感じました。どんな矛盾かというと、この窓口を開設することによって入り口は広くなったかもしれないが、相変わらず出口は狭いということ。出口とは主に就労です。企画書の項目についてもアウトリーチやアセスメントの手法についてはすらすら書けるのに、受け皿となる地域整備の項目となるとペンを止まり、一晩中悩んだ記憶があります。オレンジの会も、もちろん親の会もですが、今後はこういうした出口の受け皿も念頭に資源を整備していく必要

生活困窮者窓口訪問 センター開始から 見えてきたジレンマと課題

10月7日、NPO法人オレンジの会(名古屋セシジョン「庵」)のプロボノスタッフや主催側の経験者らによるファシリテーターたちが、当事者と社会をつなぐ触媒的な役割を担いました。



共働ける社会を目指して44年間従事してきました。引き出す支援ではなく、必要とする人のために就労の場所を設けたかった。大切にしているのは当事者主体ということ。当事者にとって制約とならないよう、いかに柔軟に支援できるかが課題。たとえば、困窮者窓口は平日9時〜17時という時間制約があるの

生活保護受給しか道がなく、そのための記録と書類の負担は増えていくのが現状。生活保護が一般就労か、出口が二者択一で選択肢が少ないという課題が背景にある。相談の入口や手法だけが充実しても、現実にはつなぐ先の出口が非常に少ない。たとえば、家賃相当額の補助も3か月の猶予しかない。たとえ、3か月以内一般就職を決めるための支援となると、現実的にはかなり困難である。

ひきこもりの場合、中間的就労を選ばないが、2年以内ぐらいのスパンで一時的に生活保護を受けながら自立に向けて準備していく制度などあればいいのではないかと。窓口の実態、現場の声を国に挙げていく必要を感じている。当事者主体の支援を目指しているからこそ制約のジレンマ。困窮者自立支援制度をさらに有効なものとしていくために、今後取り組むべき社会的課題も含めてお話しただきました。(本部事務局)

ひきこもり大学には、今も姿の見えない当事者たちに向かって「感情を言葉にしても大丈夫だよと伝えたい」「社会の偏見の水位を下げる」という思いから、ファシリテーターが入って対話を行います。学部学科名も講師が自由にネーミング。自己表現学部というクリスマスライヴや、対人恐怖学部というキャンプファイヤーなど、ひきこもり経験者ならではの目線とユニークな発想で行われ、またたく間に各地の当事者たちの間に普及していききました。

にも子のためにもなると知りました。ひきこもり本人を特別視して支援するのではない。いつも現場で感じるのは、まず自分自身が変われば、その微妙な変化が周囲にも確実に伝わっていくのだと気づかれます。

10月には、KHJと庵のコラボによるファシリテーターを養成する講座(日本財団助成事業)で、ひきこもり経験や親和性があるピア・ファシリテーターが新

たに22人誕生しました。ひきこもり当事者が、相手の感じている障壁を見抜く力や居心地への配慮、社会に役立ちたいという気持ちなどの点でファシリテーターに向いているというのは、ひとつの発見でした。今後彼らにはキャラバンなどを通じ、孤立する当事者や社会資源の掘り起こし、多様でフラットな関係性づくりなど、地域の核となる役割が求められるそうです。

NAGAOKA KOKORO CLINIC
ながおか心のクリニック

ストレス外来・ひきこもり外来・アルコール予防外来・摂食障害外来

★KHJ長岡フェニックスの会・家族会、居場所、パティオ、テラコヤ、パソなび、NABA
★断酒ミーティング、外来そく断酒会、外来そくAA

当クリニックは、社会参加を目標にします

〒940-0082 新潟県長岡市千歳1丁目3-42
ながおか心のクリニック 中垣内 正和
TEL: 0258 38 5001
FAX: 0258 38 5002
http://nagakoko.com

一般社団法人
SCSカウンセリング研究所

〒170-0002 東京都豊島区東横3-4-4 JR東横駅徒歩5分
TEL: 03-3918-0655 FAX: 03-3918-7873

メールアドレス: scsikeda@t.toshima.ne.jp ホームページ: http://www.scsself.com

SCS
= Self actualization Counseling Society
自己実現カウンセリング研究所

SCSカウンセリング研究所は
ひきこもっている本人・父親・母親・その他関わっている人に対し
カウンセリングや各種の講座、活動を通して
人間成長を実現していく団体です

予約・お問い合わせ: 03-3918-0655



川柳俳句・コーナー

回避には、周りの人が見てもわかる行動レベルの回避だけではなく、やっている本人にしか意識できない内面の回避があり、実に様々な回避の仕方が存在します。ひきこもり状態は、こうした回避心性によって自身がかかり方は、ひきこもり状態にある人にとっては逆効果なのです。

CRAFTでは、これとは真逆の方法をとります。つまり、嫌なことから回避したい人に安心感を与えることを大事にするのです。安心感、ポジティブ感情と呼ばれる



徳島大学大学院ソシオ・アーツ・アンドサイエンス研究部 境 泉洋

「CRAFT」コミュニティ強化と家族訓練

- ・ひきこもり 現代社会のブラックホール
- ・ひきこもり 親も地域も ひきこまれ
- ・子の居場所 親の居場所も確保し
- ・一挙手一投足 二階の息子に 気を遣い
- ・何のため 生まれてきたのか ひきこもり
- ・親亡きあと なんとかなる ひきこもり

新しい年が幕を開けました。俳句・川柳のコーナーで、かわいい猫のイラストを描いてくださっているmicatさんは、ひきこもり経験を活かしてピアサポーターとしても活動中。得意としているイラストで旅立ちを応援してくれています。本部署務局にも猫のぶっちゃんがいる、ドタバタな日々を見守ってくれています。埼玉県岩槻市にある「らうんじ」の中村理事にレアウトをお願いし旅立ちを誕生します。日々たくさんの力に支えられていることを感じます。闘病中の編集委員にエールの一句。初日さす歩んだ道にまたの友。支部のみなさんと共に歩む「旅立ち」。本部編集委員一同、また新たな気持ちで一步を踏み出していきたいと思ひます。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。(う)

感情の一種です。ポジティブ感情には、人の行動や認知を活性化する作用があります。逆に、不安や恐怖といったネガティブ感情には人の行動や認知を委縮させる作用があります。この考え方に従うならば、嫌なことを回避して委縮している人達に、安心感を与えることは行動を活性化することにつながります。これがCRAFTの基本的な発想です。ひきこもり状態にある人の一番身近にいて、たくさんの安心感を与えられるのが家族です。家族がひきこもり状態にある人の脅威になっている状況では、ひきこもり状態からの回復は難しいでしょう。CRAFTでは、家族がひきこもり状態にある人にとって安心できる存在になることを目指します。本連載では、そのための方法について順を追って解説していきます。

月例会に参加して気持ちを楽にしたり情報交換しませんか

☆☆家族会（月例会）問い合わせ先（2016年1月19日現在）

東北・北海道ブロック（8支部）
KHJ 北海道「はまなす」（北郷恵美子） 〒064-0824 札幌市中央区北四条西 26 丁目 3-2 ☎090-3890-7048 ☎&FAX 011-631-0981
NPO 法人岩手県青少年自立支援センター「ポランの広場」家族会（泉 勝夫）〒020-0873 岩手県盛岡市松尾町 19-8 ☎019-605-8632 FAX 019-605-8633
KHJ 青森県「アップルの会」（川村克彦）☎&FAX 0178-88-5297 〒039-1212 青森県三戸郡階上町蒼前西 5-9-1634 サウナ内
KHJ 青森県「さくらの会」（下山洋雄） 〒030-0844 青森県青森市桂木 3-25-10 ☎090-8613-5561 FAX 017-723-1754
NPO 法人 KHJ 宮城県「タオ」（武田和浩） 〒987-2183 栗原市高清水袖山 62-18 FAX 0229-87-3449 ☎080-3193-6715
NPO 法人山形県「から・ころセンター」（伊藤正俊） 〒992-0026 米沢市東 2-8-116 ☎&FAX 0238-21-6436
KHJ 秋田県はっけの会（菅原） 〒010-0201 湯上市天王字上狼縁 36-130 ☎090-6688-5216
KHJ 福島県花ももの会（千葉佳子） 〒960-8066 福島県矢剣町 22-5 NPO 法人ビーンズふくしま内 ☎024-563-6255 FAX 024-563-6233
関東ブロック（12支部）
NPO 法人楽の会リーラ（市川乙允）☎&FAX 03-5944-5730 〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 3-16-12 第二塚本ビル 202
KHJ 西東京「萌の会」（須賀 啓二） 〒121-0064 東京足立区保木間 2-8-13 FAX 03-3883-2358 (TEL は無し)
NPO 法人 KHJ 埼玉けやきの会家族会（田口ゆりえ） 〒331-0805 さいたま市北区盆栽町 190-3 ☎&FAX 048-651-7353 ☎080-3176-6674
NPO 法人 KHJ 千葉県なの花会（藤江幹子） 〒260-0042 千葉市中央区椿森 1-2-2 志村荘 201 ☎070-2191-4888 FAX 043-294-7629
KHJ 神奈川県「虹の会」（安田賢二）☎080-2107-1171 〒221-0835 横浜市新神奈川区鶴屋町 2-24-2 12 階 ボランティア気付 No. ②
NPO 法人 KHJ とちぎベリー会（齋藤三枝子） 〒321-0954 宇都宮市元今泉 5-9-7 宇都宮市まちづくりセンター まちびあ内 2F ☎090-1846-4004 FAX 028-663-5022
グループコスモス（瓜生 武）☎&FAX 03-3728-4488 〒145-0066 東京都大田区南雪谷 2-11-5 ☎080-3255-4161
KHJ 茨城県「ひばりの会」（荒井 俊） 〒271-0064 松戸市上本郷 857 北松戸成川ビル 3F フレンドスペース内 ☎047-364-7332 FAX 047-362-4065
KHJ 山梨県「桃の会」（篠原博子） 〒409-0126 山梨県上野原市コモアしおつ 1-4-3 ☎0554-66-4073 090-6190-8677
KHJ 静岡県「いっぶく会」（上杉博美）☎&FAX 054-245-0766 〒420-0884 静岡市葵区大岩本町 25-2
KHJ 群馬県「はるかぜの会」（榎本 明）☎080-3727-8726 〒370-0126 伊勢崎市境下武士 2551-1
KHJ 長野県「らい鳥の会」（唐澤 秀明）☎080-3433-4904 〒396-0026 伊那市西町 6022-3 城南町市営住宅 C210

KHJ 川崎「オレンジの会」（鈴木美登里） 〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 3-4-4 ☎090-6585-5770
東海ブロック（6支部）
NPO 法人 なでしこの会（大脇正徳） 〒456-0032 名古屋市長熱区三本松町 15-13 神宮東ビル A2 階 ☎&FAX 052-882-1119 ☎090-4195-2674
みえオレンジの会（堀部 尚之）☎090-6469-5783 〒514-0009 三重県津市羽所町 700 アスト津 3F 県民交流センター内
NPO 法人名古屋オレンジの会（山田孝介）☎&FAX 052-459-5116 〒453-0015 名古屋市中村区椿町 19-7 矜サマシヨウ椿町 304
豊田大地の会（酒井 信夫）〒470-1211 豊田市飯部東町上梅ノ木 12 ☎0565-21-0177
KHJ 岐阜県「鵜の会」（伊神 亮）☎090-8073-7045 〒453-0015 名古屋市中村区椿町 19-7 チサンマンション椿町 304
NPO 法人 てくてく（山本洋見）☎053-442-6365 〒432-8054 静岡県浜松市南区田尻町 208-2 ☎090-1416-6224
北陸ブロック（7支部）
NPO 法人 KHJ にいがた「秋桜の会」（三膳克弥） 〒950-0167 新潟県新潟市江南区五月町 1-2-9 ☎090-8873-4453 ☎&FAX 025-382-6912
KHJ 長岡フェニックス（斎藤 紀子） 〒940-0082 新潟県長岡市千歳 1-3-42 ☎0258-38-5001 FAX 0258-38-5002 ながおか心のクリニック内
KHJ 北陸会（所田澄子） 〒920-0813 石川県金沢市御所町丑 57 ☎&FAX 076-252-4856
とやま大地の会 ☎（米谷貞吉）090-5682-4921 〒939-2304 富山市八尾町黒田 3376-1
KHJ 福井すいせんの会（近藤 茂樹）☎&FAX 0776-34-1470 〒918-0057 福井県加茂河原 1-5-10 携帯 090-2035-3116
KHJ はあとびあ家族会（高和 洋子）☎&FAX 0766-86-3891 〒933-0235 射水市海老江練合 169-32 携帯 090-2035-3116
KHJ 石川県南加賀支部 いまこ親の会（林昌則） 〒922-0000 加賀市山中温泉市谷町イ 47 ☎070-5633-2667
近畿ブロック（5支部）
NPO 法人京都オレンジの会（稲垣 緑） 〒605-0028 京都市東山区三条通大橋東分木町 74-3 東山三条リバーショ ☎&FAX 075-752-0289
NPO 法人大阪虹の会（前川 実）☎&FAX 072-265-2021 〒592-0011 高石市加茂 1-13-26
NPO 法人 KHJ 「つばさの会大阪」（大塚 洋） 〒573-0027 枚方市大垣内町 1-3-1 マイビル 4F ☎090-4308-4259 ☎072-844-2423
KHJ 情報センターふきのとう姫路（櫛橋行雄） 〒670-0896 兵庫県姫路市上大野 1-11-6 FAX 079-224-5259 ☎090-8378-8032
兵庫県栄栗支部 ひまわりの家 家族会（松本 むつみ） 〒671-2552 兵庫県栄栗市山崎町段 194-1 ☎&FAX 0790-65-9205
中国ブロック（5支部）
KHJ 岡山さびの会（榎谷富子）☎&FAX 086-262-9335 〒702-8022 岡山市南区福成 1-128-4
KHJ 福山「ばらの会」（中村 友紀）☎090-4655-3358 〒720-0031 福山市西町 1-1-1 リム・ふくやま 7 階

【本部事務局】 KHJ 全国ひきこもり家族会連合会
☎03-5944-5250 FAX 03-5944-5290 info@khj-h.com
〒170-0002 東京都豊島区巢鴨 3-4-4

KHJ 山口県「きらら会」（上田十太） 〒759-4102 長門市西深川 2850-3 ☎&FAX 0837-22-5495
KHJ 広島もみじの会（藤岡 清人） 〒731-5137 広島市佐伯区美の里 2-1-39-801（岡本方） ☎090-7375-6659 ☎&FAX 082-924-2922
KHJ 鳥取県らくだ会（田中隆雄） 〒680-0074 鳥取市卯垣 5-60-F-4 ☎090-465_
四国ブロック（4支部）
NPO 法人 KHJ 香川県オリーブの会（川井富枝） 〒761-0104 高松市高松町 2574-9 ☎&FAX 087-843-9877 ☎090-4332-3288
KHJ 徳島県「つばめの会」（高橋浩爾） 〒776-0014 吉野川市鴨島町知恵島 372-6 ☎090-1325-2740 ☎&FAX 0883-24-0507
KHJ 高知県親の会「やいろ鳥」の会（坂本勲） 〒781-8131 高知県高知市一宮しなな 1 丁目 14-10-1 ☎090-3184-8109 FAX 088-862-0740
KHJ 愛媛県こまどりの会（武田邦寛） 〒791-8012 愛媛県松山市姫原 2 丁目 7-33 サトノ姫原 505 ☎090-7578-4214 FAX 089-923-3367
九州・沖縄ブロック（8支部）
KHJ 福岡県「楠の会」（吉村文恵） 〒810-0003 福岡市中央区春吉 1-7-18 竹内ビル 2F ☎090-8222-7403 ☎&FAX 092-731-3091
NPO 法人熊本ランチ（武井敬蔵） 〒860-0072 熊本市花園 7-2435-12 ☎096-322-3548 FAX 096-322-3787
KHJ 熊本県「りんどうの会」（事務局） 〒869-0623 熊本県宇城市小川町川尻 390-2 電話 090-5388-9874
KHJ みやざき「楠の会」（植田美紀子） 〒880-0944 宮崎市江南 4-9-9 植田方 ☎090-9603-8780 ☎&FAX 0985-53-2666
KHJ 大分県「大分ステップの会」（松本太郎） 〒879-5102 由布市湯布院町川上 3604-14 ☎090-1163-8582
KHJ 鹿児島県楠の会（吉留 純隆）☎090-4988-6961 〒896-0078 鹿児島県いちき串木野市生福 10504-3
KHJ 沖縄「ていんさぐぬ花の会」（平良 玲奈） 〒902-0072 沖縄県那覇市真地 456-58 地域子ども・若者プラザ（UTT 内） ☎070-5277-2036 FAX 098-894-3344
KHJ 石垣島ビーチの会（町田弘樹） 〒907-0022 沖縄県石垣市大川 213-1 3F ☎&FAX 0980-87-0146